

令和8年度調査事業(方針作成等調査事業)の実施

令和7年12月24日
国土交通省 中国運輸局

令和8年度調査事業(方針作成等調査事業)の実施

○ 令和8年度調査事業(案)(方針作成等調査事業)

(名称案)

芸備線再構築方針作成等に関する調査事業（仮称）

(目的・考え方)

- ・令和7年度の新調査事業においては、実証事業Aの結果に基づく鉄道の地域経済効果の検証等や、実証事業Bに向けた他モードの地域経済効果の試算等といったデータ収集・分析の作業を進めている
- ・この点、令和8年度においては、前年の実施プロセスと同様に、実証事業Bの結果に基づく他モードの地域経済効果の検証等を行う必要がある
また、これらのデータ収集・分析に基づいて、鉄道と他モードの地域経済効果の比較検討を中心とした総合的な分析を行った上で、最適な交通モードについて議論し、協議会の目的である3年以内を目安とした再構築方針の作成について議論する必要がある
- ・このため、来年度において「芸備線再構築方針作成等に関する調査事業」(方針作成等調査事業)を予算化することとしたい

(調査委託)

- ・方針作成等調査事業の実施に当たり、公共交通の専門的知見を有するコンサルへの委託を想定

具体的な内容

1. 実証事業Bに関するデータ収集・分析

- ・実証事業Bにおける他の交通モードの実証運行と並行して、アンケート調査その他のデータ収集・分析を実施する

2. 実証事業A（令和8年4～6月）に関するデータ収集・分析

- ・前年に引き続き、令和8年4～6月にかけて継続する実証事業Aと並行して、データ収集・分析を実施する

3. 総合的な分析（地域経済効果の比較検討等）

- ・調査事業A・新調査事業・実証事業A・実証事業Bで収集・分析したデータを活用した上で、鉄道・他モードの地域経済効果について比較検討する
- ・このほか、最適な交通モードを判断するに当たっては、鉄道・他モードの地域経済効果の比較検討のほか、データとファクトに基づき、鉄道・他モードの再構築に係る初期費用・運行費用・自治体負担、鉄道・他モードが有する定性的価値、交通事業者の現況等も踏まえて総合的な判断を行うため、論点整理を行う

4. 再構築方針案の検討

- ・総合的な分析を踏まえて協議会において最適な交通モードについて議論した上で、交通手段再構築（鉄道再構築又はモード転換）に関する「芸備線再構築方針（仮称）」について検討する